

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公開番号】特開 2009-211691 (P2009-211691A)
 【公開日】平成 21 年 9 月 17 日 (2009.9.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-037
 【出願番号】特願 2009-27530 (P2009-27530)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/28 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/28 T

G 0 6 F 17/28 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 7 日 (2012.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原文に対する訳文の作成を支援するための翻訳支援システムのサブシステムであり、
 表示装置と、
 入力装置と、

第 1 翻訳単位を原文文字セット文字で、前記表示装置によって表示する第 1 翻訳単位表示手段と、

入力トークン又は訳文文字セット文字の少なくとも 1 つを、ユーザが選択的に前記入力装置から入力することによって、入力トークン又は訳文文字セット文字との少なくとも 1 つを具備する混合入力シーケンスを前記ユーザに入力させる混合入力シーケンス入力手段と、

を具備し、

前記第 1 翻訳単位は、原文文字セット文字で表された前記原文の一部又は全部を具備し、

、

第 2 翻訳単位は、前記第 1 翻訳単位の一部又は全部を具備し、

前記第 2 翻訳単位の間には、同値関係が定義され、

前記第 2 翻訳単位に対して、それぞれ前記入力トークンが関連付けられており、

前記入力トークンは、それぞれに関連付けられた前記第 2 翻訳単位が具備する原文文字セット文字の少なくとも 1 つを具備し、

前記第 2 翻訳単位の同値類は、前記第 2 翻訳単位に関連付けられた前記入力トークンによって前記第 1 翻訳単位内で特定可能であり、

前記第 1 翻訳単位表示手段は、前記第 1 翻訳単位の一部又は全部を具備する第 2 翻訳単位に関連付けられた前記入力トークンが具備する原文文字セット文字の全てを、表示されている前記第 1 翻訳単位が具備する前記第 2 翻訳単位内でハイライト表示し、

前記入力トークンが具備する原文文字セット文字の全ての入力が、前記入力トークンの入力に必要であることを特徴とするサブシステム。